

進入し、劇しき音響を發生す。恰の海の哮ゆるが如く、又は海の嘯くが如く、甚だ壯觀を極むるものなり。支那杭州灣頭に位する錢塘江口に最も著しく、特に海嘯の名あり。英のボリア、佛のマスカレト、南米トカンセン河のボロロカは皆海嘯の現象に同じ。錢塘江に於ては、高さ十尺以上、稀には十六尺に及び、進行の速度十二節に達す、我が國に於ては、肥前大村灣の針生瀬戸に此の例ありと云ふ。我が海軍水路部に於ては、此の現象に暴漲湍の名稱を用ふ。

斯くの如き所に於ては、打ち開きたる海と異りて、引き潮の時間は長く、上げ潮の時間は短し。且三角江の口著しく狹縮し、且深さも次第に減するを以て、潮は次第に高まるべし。特に潮の波の形は變じて、前の側に急に、後の側に緩かとなるべし。且河流は進入する上げ潮を遮り、三角江の奥に水を滞らしめ、二つのもの暫らくは平衡を得れども、終には此の釣合突然として崩れ破れ、これが爲めに上げ潮の波は直立の水壁を成し、劇烈なる音響を生じて急に進入するに至るべし、これ即ち海嘯の現象なり。

## 海嘯の生因

## 一七八、潮流。

海水若し地球の全體を掩ひ、其の深さも無窮に深きものなりとせば、潮汐の現象は頗る單簡にして、海水は僅に二米内外の一高一低を生ずるに過ぎず、水分子は小圓を描きて運動するに止まるべし。然れども海岸に於て水の深さ非常に減するときは、潮の波は大に形を變ずること、前項に於て説明せるが如く、海水は遂に水平の運動を起すに至るべし。深さ五千米の大洋に於ても、水分子は四百米の徑路を描き、河口の如く僅に數米に過ぎざる淺海に於ては、十軒以上の徑路を描く、これ潮流の起因なり。斯くの如き潮流を感じる所にては、潮の水位の最も高き時(通俗に云へる最も満ちたる時、學術上にて最高潮面の時)と上げ潮(通俗に云ふ満潮、學術上の漲潮)の流れの極限の時とは一致せず。又潮の水位の最も低き時(通俗に云へる最も引きたる時、學術上にて最低潮面の時)と引き潮(通俗に云ふ干潮、學術上の落潮)の流れの極限の時とは一致せず。即ち上げ潮(満潮、漲潮)の流れは最高潮時の前約三時間に起り、尙最高潮時の後三時間まで續くを常とす。此の間潮の水位は次第に下れども、流れは尙上げ潮なり。潮が遂に平

漲潮と高潮  
落潮と低潮



均潮位に達すれば、上げ潮の流れは止みて、一時静止し、これより引き潮の流れ更に始まる。即ち引き潮は最低潮時の前約三時間に起り、尙最低潮の後三時間まで續くを常とす。此の間、潮の水位は次第に高まれども、流れは尙引き潮なり。潮が平均潮位に達すれば、引き潮の流れは止み、再び静止し、これより上げ潮の流れ更に始まるべし。

「古ルキ地理」にては、屢漲潮<sup>△△</sup>と高潮<sup>◎</sup>、落潮<sup>◎</sup>と低潮<sup>◎</sup>とを混同せり。漲落は流れにして、高低は水位なり。水位昇降の全く止みたるを停潮<sup>◎</sup>と云ふ。所謂<sup>タ、キ</sup>「最高潮」<sup>ソコリ</sup>「最低潮」これなり。潮流漲落の全く止みたるを停潮<sup>◎</sup>と云ふ。又滿潮干潮の語は或は水位の高低に用ひ、或は流れの漲落に用ひ、意義屢曖昧なることあり。これ「古ルキ地理」に屢見る所の誤りなり。大洋の中央にては、停潮と憩潮とは同時に起れども、淺き海岸特に海峡又は河口に於ては、前記の如く、其の時を同じうせず。始めて瀬戸内海に遊ぶものは、引き潮に於ても、尙潮の次第に高まり、上げ潮に於ても潮の更に降ることあるを見て、大に怪しむことあらん。以上の説明は此の疑問の大體を解

くに足るべし。

### 一七九、海流。

海流と潮流とは、實際に於ても屢紛れ易し。例へば、一つの海流あり。これが爲めに沿岸に逆流を喚び起せりとせば、此の逆流は少時間の観測にては、一見潮流と區別し能はざることあるべし。又沿岸に潮流あり沖合に海流ある場合には、其の境界の決定に苦しむことあるべし。要するに海流と潮流との區別は、單に時と方向との關係にあり。一日の間或る時間は一方に流れ、残りの時間は反對の方向に流るゝものは、概ねこれを潮流と見るべく、季節風向等によりて方向と速度とに多少の變動あるも、大體に於て一方に流るゝものは、概ねこれを海流と見るべし。

海流と潮流とは屢區別し難きこと斯くの如しと雖も、これあるが爲めに、すべての海流を以て潮流と混同するの口實を作る勿れ。「古ルキ地理」に於ては、屢此の誤りあり、注意すべし。特に日本海流の黒潮に於ける、千島海流の親潮に於ける如く、從來の名稱を應用するが爲め、此の誤解は深く一般の思想に浸潤し、容易に解脱せしむること能はざるは遺憾なり。



海流の原因に就いては、從來風を以て主因とし、其の他、地球の自轉、温度の差異、鹽分の厚薄等を副因とす。特に注意すべきは、地形特に海岸の輪廓が著しく海流に影響を及ぼすことこれなり。海流が陸地に接近するときは、海岸に平行してこれと反對の方向を有する逆流を生ずべし。此の逆流は風の方向とは直接何等の關係を有せず、故に風の爲めに強制せられたる海流に對して、これを自由の海流と云ふ。恰も波のウネリに於て説明せし場合の如し(一七三を見よ)。又灣流が墨西哥灣に沿ひ、北米の東岸に沿ひて流ること、日本海流即ち黒潮の本支流が日本群島の彎形に沿ひて流ること、千島海流即ち親潮が北海道の東南岸を下り、内浦灣に入りて、灣岸に沿ひて流ること等は皆海流の方向が海岸の輪廓に密接なる關係あるを示すものなり。和田理學博士(雄治)は先きに小笠原逆流の存在を説明し(水産調査報告第三卷第一冊)。最近に於て又日本海に於ける環流の存在を論究せられたり(地學雜誌第二九二、二九三、二九四號)。これ又一面には海流の方向と海岸の輪廓とが如何に密接なる關係を有するがを示すものなり。

海流の影響に就いては、其の地形に及ぼす關係二様あり。一は其の侵蝕作用なり。ジブラルタル海峡、英佛間のドーバー海峡、西印度諸島に屬するアンチル諸島間の諸海峡を以て、從來海流侵蝕の作用に歸せしと雖も、これ海流の影響を過大視せるものなり。其の二は堆積作用にして、往々顯著なる現象を呈す。南米グイアナの沿岸一帯に廣き淺海部あるは、海流堆積作用の最も著しき例なり。これ南赤道海流がアマゾン河水の海中に注げるものを北西に押し遣り、同河の含める砂泥を沈澱せしむるによるなり。其の他海流の影響は生物の傳播、人種の移住等、其の方面甚だ多けれども、就中最も著しきは、航海及び氣候に對する關係なり。北大西洋の北部は其の顯著なる例を示し、此の所に於ては、一方に於ては、灣流の北上あれども、他方に於ては寒流南下して、氷山を運び、濃霧を生ず。これ海難の玆に頻繁なる所以にして、最近に於けるタイタニック號、アイルランド號の事件の如き、其の最も悲惨を極めたるものなり。

海流と氣候との關係を論ずるには、風向の如何に注意することを要す。



「古ルキ地理」は此の點に於て屢誤謬に陥れり。例へば、若し南西風と西風との卓越することなくんば、灣流は歐洲西部に對して斯くの如き溫和なる氣候を與ふるものに非ざるべし。又例を我が國に取れば、冬は北西風多くして、黒潮の暖風を太平洋の沖合に向つて吹き散らしめ、夏は南東風多けれども、此の時は日本内地は既に高溫なれば、黒潮の暖流は氣温に就いては、直接何等の影響を與へず。若し低氣壓を以て黒潮に沿ふものとせば、此の關係に於て、特に降雨の點に於て、黒潮は日本内地に著しき影響を有すれども、黒潮上の暖風は前記風向の關係により、直接日本内地の氣温には夏冬共に大なる結果を生ずることなし。又若し冬季浦鹽斯德近海の海流をして、流水を運び來ることなからしむとも、冬季西伯利より來る北西風の存する限りは、同港の氷結を根絶せんことは望み得べからず。同港の氷結を海流のみに歸するは、「古ルキ地理」の誤りなり。要するに海流と氣候との關係を説くに當りては、これと同時に必ず其の地方に卓越せる風向の如何なるかに注意すべきものと知るべし。

## 一八〇、海洋と人文。

海は能く吾人を閉ぢ圍み、又能く吾人を開き放つ。海に慣れ水に親しむものは榮え、海を恐れ水に遠かるものは衰ふ。東洋諸國が近世に於て發達の鈍かりしは、海に對して萎縮し退嬰せしが故なり。西洋諸國が最近に於て進歩の著しきは、海に向ひて膨脹し發展せしが故なり。獨逸人の前途は水上にあり。獨逸人は海に赴くべし。獨逸の版圖を波の上に擴げよ。此の根本的海國主義あり、これ獨逸帝國が今日の強大を致せし所以なり。

島に於て孤立する勿れ、須らく制海の實權を握るべし。海洋は世界の大道なり、人類活動の最大舞臺なり。天の與ふるを取らざれば、反つて其の咎を受く。島國にして船を捨つるは、他國の奴隸に甘んずるものなり。天命したるを爲さず、己の分を盡さざれば、必ず其の報あり。海國にして其の海を忘るゝものは、自國の滅亡を希ふものなり。波の主となるものは能く世界の主たるべし。水産に於て、通商航海に於て、又制海の權に於て、海の王となるものは、能く地球上第一のものたるべし。汝若し斯くの如くならば、



太陽は最も早く汝の上に昇るべし、常に斷えず汝の居る所を照らすべし。然らば汝は所謂日出づる所の國にあるべく、又太陽の決して没せざるの所にあるべし。

## 海の感化

活動は人の本能なり、人の最も恐るゝ所は不動にあり(一五二)を見よ。運動現象の極めて猛烈なること海洋の如くにして、しかも人心の感化に至大なる影響なしと云ふとも、誰れかこれを信せんや？。海を見よ、其の大きさは廣大無邊なり。水を見よ、其の力は絶對無限なり。何等の制限を受くる勿れ、汝は此の海の如く自由なれ。何故に汝は萎縮し退嬰するか？、汝は此の水の如く發展せよ。斯くの如くにして人を現在より高むるものは海なり。現身の儘に於て、精神を向上せしめ、勇猛精進、對外の事業に成功せしむるに至るは海なり。海の勢力は偉大なり。此の大勢力の前には人間はすべて平等なり。人類が如何に焦心し、苦慮するも、すべて此の大勢力の支配を受くべきものなり。これに順ふものは存し、これに逆ふものは亡ぶ。理智の冷靜なく、感情に熱狂せるものをして、自然の大勢力に觸れ、過去を悔み、未來を恐

## 現世的感化

## 宗教的感化

## 海と風景

れ、信仰を起し、宗教に入らしむるものは海なり。海は又風景の女王なり。其の波に於て、其の潮汐に於て、又間接に其の海流に於て、能く自然を美化し、従つて人生を美化するものは海なり。これ、古ルキ地理に於て屢説き盡くしたる所なり、茲にはこれを繰返すの勞を省くべし。

**一八一、高氣壓及び低氣壓。**單に讀んで字の如く、高氣壓は高く低氣壓は低しとする勿れ。或は海面上平均の氣壓約七百六十耗より高きを高氣壓、低きを低氣壓とする勿れ。最近氣象學の云ふ所は等壓線の形狀によるものなり。等壓線が多少圓形を成して閉塞し、其の内部の氣壓が外部より高きものを高氣壓と云ひ、これに反して、内部が外部より低きものを低氣壓と云ふ。故に冬季に於ては、低氣壓にして七百七十耗にも達することあるは稀なりとせず。「古ルキ地理」の轉載せる所、屢此の誤多し、注意すべし。

**一八二、低氣壓の進路及び速度。**低氣壓の進路を以て一定のものとする勿れ。我が國に對して暴風雨を起す如き低氣壓と雖も、其の主要なる進路すら數多あるを知るべし。又低氣壓の進行速度は甚しく不定な



るを知るべし。特に進路の曲らんとする附近に於ては、進行速度の極めて小なるを常とす。

**一八三、低氣壓の發達。** 茲に一つの低氣壓發生せり、其の存在を發見せりとせよ。彼れは如何になり行くか？。彼れの運命は如何？。彼れは其の始め甚だ弱く、後次第に發達して、非常なる悪性を呈すべきものなるか？。將た一旦危険なりし彼れは漸く衰へて、遂には中途に消滅すべきものなるか？。斯くの如き低氣壓生長衰亡の關係は決して單純なるものに非ず。従つて未だ一定の法則を發見する能はざるものと知るべし。

故に低氣壓の襲來に當り、氣壓の最も低く下る瞬間を以て必ず低氣壓の中心に最も近き時とする勿れ。低氣壓の次第に發達するものにおいて、此の瞬間經過の後若干の時間中、氣壓は尙低下することあるべし。亞細亞大陸に起りて樺太附近に襲來する低氣壓には間々此の性質のものあり。

**一八四、風の方向及び速度。** 風の吹く方向と低氣壓中心の移動とを混同する勿れ。又風を以て必ず水平の方向に吹くものとする勿れ。

## 風の息

通常風は實際上水平に對して或る角度を爲して吹くものなれども、唯これを測る上に於ては、水平の方向に分解したるものを取れるものなり。如何なる風も一定の速度を以て或る時間吹き續くものに非ず、僅かの時間の間に急劇に變化をなすこと、恰も人の呼吸をなすが如し、これを風の息と云ふ。雨の脚を遠方より望むに、縞を爲して見ゆるは、これ風の息をなすによる。

**一八五、二百十日・二百二十日。** 立春より數へて二百十日目又は二百二十日目に當る、故に此の名あり。優勢なる低氣壓の我が國に襲來するものは、この頃に最も頻繁なり。然れども唯此の二日のみを恐るゝ勿れ。又此の二日に於て、日本全國を通じて一齊に暴れるものと考ふる勿れ。斯くの如き誤解は、「新しき地理」の排斥する所なり。

**一八六、高層氣象。** 氣温は地面を距るに従ひ、必ず次第に減するものとする勿れ。場合によりては却つて増加して逆式なることあり。これ多くは高所より下降したる空氣の存在によるなり。又正式の場合に於ても、非常なる高所に至るまで、温度遞減の現象ありとする勿れ。地面上或る限



界の高度に至れば、温度遞減の現象なく、一定せる氣層ありこれを等温層と云ふ。

英國の觀測によれば等温層の高さは五哩乃至七哩にして、其の温度は華氏零下二十度乃至八十度なり。但し同一の地點に於ても、此の等温層の高さは時によりて一定せず、又同一の等温層にても、所によりて温度に差異あり。故に等温層を以てすべの時に於て、又すべての地點を通じ、温度常に一定せるものと誤解する勿れ。

地表にある如き障礙の原因なきを以て、高層の氣象を地面よりも一層單簡なるものと豫想する勿れ。高層に於ける氣象の變化は、地面に於ける如く、其の程度に於て同じく、大にして、其の發生に於て同じく、急劇なり。又地面の現象は著しき高所まで影響を及ぼすことなしとする勿れ。森林山岳、河川等がこれに沿ひて一方に氣流を起し、著しき高所までこれを感じしむるは其の適例なり。これ飛行家が注意警戒を怠らざる重要事項の一なり。近時文明諸國は或は高山に觀測所を設け、或は平地に凧を飛ばし、氣球を

擧げ、大に高層氣象の觀測に力む。以上の事實は其の成績の二三を示せるものなり。他日其の研究大に歩を進むると共に、氣界全體の性質を明かにするを得ば、天氣豫報上良好なる成績を收むるに至るべし。

**一八七、降雨の原因。**雨水を以て重もに海水の蒸發より來るものとなす勿れ。陸面よりの蒸發は雨水の根源に多大の寄附をなすものなり。陸地上の雨量の大部即ち十中五六までは地上より蒸發したる水分なり。夏日雷雨の場合には確かに然り。此の水分は陸上の空氣より來れり、決して急に海上より來りしものには非ず。



## 第十四章 人口

## 一八八、人口の増加。

人口の増加は世界に於ける大勢にして、マルサスによれば二十五年を以て其の數を二倍し得べき性質を有す。然れども最近に於て最も注意すべき現象の發生あり。曰く主要諸國に於ける人口増加率の減少これなり。其の原因は主として生産率の減少にあり。英國中イングランド及びウェールズに於ては、西曆紀元一八八一年より同八五年に至る五年間には、人口一千に付き平均生産率三三・五なりしが、一九〇九年に於ては二五・八に降りたり。同期間に死亡率が一九・四より一四・六に減少せしに係はらず、人口の増加率は一四・一より減じて一一・二となれり。若し此の趨勢にして底止することなくんば、近き未來に於て、歐洲諸國大部の人口は遂に減少の運命に遭遇すべし。般鑑遠からず、例は近く佛國にあり。人口増加に對する佛國の位置。此の點に關して、佛國は實に危險なる位置にあり。即ち一九一一年に於ては、前年に比して生産率を減少すること

人口増加率の減少

最近に於ける佛國の例

千分の一、生産の實數を減すること三萬二千餘人、死亡の實數を増加すること七萬三千餘人、生産に對する死亡の超過は約三萬五千人に達せり。これを前年に於ける生産の超過約七萬人なるに比して、非常なる差異ありと云ふべし。即ち生産率が何れの他の國民よりも低くして、空前の低潮に達したるのみならず、其の總人口に於て、優に一市の人口に等しき三萬四千人の正味損失を見るに至れり。佛國は搖籃よりもより多く棺を産出すと云へる獨逸記者の冷笑に對して、彼れは如何にこれを辯解せんとするか？

人口増加率減少の原因。斯くの如く西歐諸國を通じて概ね人口増加率の減少せるは、一般に蕃殖力の衰頽を來せるによるか？。生産率の減少は體格墮落の指數なるか？。一家族の人口は何故に昔に比して減少するに至りしか？。假令一般に晩婚の傾向を生じたるも、結婚率に大なる變化なく、結婚年齢にも亦著しき異動なきに、何故に生産率のみ獨り減少を示すか？。生活程度の向上は其の一原因なるべし。享樂の欲求に伴ふ養育義務の忌避も亦其の一原因なるべし。女子教育の向上、女子職業教育の普及も亦與



つて大に力あるべし。或はこれを以て妊娠の苦痛に對する恐怖に歸する論客あれば、道德の頹廢に基けりとする宗教家あり。特に兩親の思慮次第に深くして、兒女の將來に好機會を與へんとするが爲め、自ら兒女の數を制限するに至れりとの説は、最も一般の稱賛を博せる見解なり。人口増加率減少の原因は尙非常に多かるべく、其の現象は極めて複雑なる解釋に待つべきものなるべし。

我が國に於ける人口の増加。我が國に於ては、日清戰役當時即ち明治二十七年の増加率は千分の一〇・三、二十八年は千分の一〇・九にして、戰役の瘡痕未だ癒えざる同二十九年は一〇・四のみなるに、翌三十年は直ちに増して一二・二となり、我が經濟界の最も良好なりし翌三十年は一五・〇となれり。然るに日露の開戰あるや、三十七年は忽ち減じて一〇・四となり、三十八年には更に減じて九・七を算するに過ぎず。三十九年も尙一〇・二のみなるに、翌四十年には直ちに増して一三・六となり、經濟界の最も活動を呈せし四十一年には一五・八に達し、爾後稍下れるも、尙一三内外の程度にありて、遂に英伊

本邦人口の増加率

二國を凌ぎ、又人口繁殖力の高き獨逸帝國に比するも殆ど伯仲の間にある。然れども人口の減少を來すべき前記の社會現象は、我が國に於ても、皆悉く日に其の勢力を増進するの傾向あるを以て見れば、我が國人口の將來も亦西歐諸國と同一の運命に遭遇するの目なきを保し難し、これ經世家の大に意を用ふべき所なり。

一八九、大都會の人口。人口が都會に密集し、特に大都會に集中するは争ふべからざるの現象なり。試に例を歐洲の主要都會に取り、其の西曆紀元一八〇一年の人口を以て、一九一一年に比較すれば、多くは三倍乃至八倍に達し、甚しきは二十倍に達するものあり。これ概ね人口の自然増加によるに非ず、即ち死亡に對する生産の超過によりて然るに非ず。都會に於ける政治經濟宗教學術等種々雜多の原因は、主として外部より、特に地方より住民を吸収するによるものなり。斯くの如き都會の吸引力は、バリの場合に於ては、市外六十里に達すと云ふ。我が東京市に於ける人口増加の状態も亦能く此の消息を語るものなり。



東京市の人口増加

一九〇、東京市の實例。東京市人口の増加は頗る急劇にして、其の現住人口は明治十八年に於て約百萬、同三十三年に於て約百五十萬、大正二年末には二百萬を越ゆるに至れり。其の増加率は人口一千に付き三七乃至五三にして、全國の平均に比し、又主要大市の多數に比して遙かに上位にあり。然れどもこれ人口の自然増加によるに非ず、即ち死亡に對する生産の超過によるに非ず。東京市人口の自然増加は明治四十三年に於て一千中の六七に過ぎずして、略人口五萬人以上の大市に於ける率の平均數に位すれども、固より全國總人口の平均數の半にも達せず。これ大市に於ては、生存競争の餘りに劇烈にして、個人衛生の状態は遙かにこれに伴はざるによるか？。要するに東京市人口増加の大部分は、外部よりの轉住に基づけるものなり。大正二年に於ける東京市本籍人口は總人口の約三分の二に過ぎずして、本籍人口に對する寄留人口の率は年を逐ひて増加する事實は、益此の傾向の發展を示すものと云ふべし。

## 第十五章 批判地理學の目的

ゲーテの格言

一九一、定量的なれ。世界を支配するものは數なり、世界の如何に支配せられてあるかを示すものも亦數なり。其の數を擧げずして、其の概説のみを擧ぐる勿れ。其の量を説かずして、其の性質のみを説く勿れ。定性のみの科學は精密なりと云ふべからず、何となれば、汝は空漠なる解釋を得るに止まればなり。概説のみの地理學は正確なりと云ふべからず、何となれば、汝は曖昧なる意見を繰返すに過ぎざればなり。本書に於て地球の形を論じ、其の大きさを説き、又水陸の配列を示すに當りても、數字を省かず、公式を捨てざるはこれが爲めなり。これ「新シキ地理」に於ける主義の第一なり。

一九二、實驗的なれ。吾人未だ實驗によりて雨を降らしむる能はず、又雪を降らしむる能はず。未だ實驗によりて地震を起し、津浪を生じ、火山を破裂せしむる能はず。故に曰く、人間は或は自然を診察し得べし、自然

自然觀察及び實驗と地理



に對して手術を行ひ治療を施すが如きは不可能なり。人間は唯自然を觀察すれば足れり、自然の實驗を試むるが如きは、人間の分を知らざるものなりと。これ「古ルキ地理」に囚はれたるものなり、最新地理學の思潮を知らざるものなり。地理學若し夢幻に非すとせば、若し空想に非すとせば、若し確乎たる理想を有せりとせば、自然に對する實驗的研究の進歩は、少くとも其の理想の一たるべし。水陸分布の不同に對するグリーン<sup>Green</sup>の實驗、地球の眞形に關するブラトロー<sup>Blattell</sup>の實驗は其の例なり。これ「新シキ地理」に於ける主義の第二なり。

**一九三、史的研究所を貴べ。** 歴史は動的の地理なり。今日の地理は明日の歴史なり。地理學は現在的なるが故に、過去に溯るの要なく、未來を察するの要なしと云ふ勿れ。若し過去を解せず、未來を考へずんば、何に由りて現在を明かにするを得んや。温故而知新<sup>ネテルキヤ</sup>はこれ「新シキ地理」に於ける主義の第三なり。

**一九四、獨斷主義を排せよ。** 一切の權威を排し、すべての獨斷を

去れ。教權主義に反抗するが如く、より以上に學權主義を破壊せよ。自由討究を重んじ、正當なる懷疑的態度を執り、高尚なる批評的精神を重んぜよ。適あるを以て慥かにすべし、ありとなし、屢存し得べきを以て必ず常に現存すとさせる「古ルキ地理」の獨斷は、「新シキ地理」の全力を傾注して排斥する所なり。

**一九五、循俗主義を捨てよ。** 極めて窮屈なる範圍に於て、精神の活路を求むるの循俗主義は「古ルキ地理」の一大缺點なり。彼の地球の内部に對する中間液體説の如きは、最も顯著なる例證の一なり。眞に天下の本たり、天下の達道たるものを見出す能はず、熱狂なる兩極と過激なる兩端とに對して、無意味なる平均數を算出し、淺薄なる中間説を提供し、以て其の調和と釣合とを誇るものは、未だ「新シキ地理」の潑刺たる生命を語るに足らざるなり。

**一九六、純分類主義を廢止せよ。** 分類は手段なり、目的に非ず。中間の階梯なり、最終の堂奥に非ず。抑地表の現象は其の種類甚だ多く、其



の性質亦概ね複雑なり。故に宜しくこれを相當なる順序に排列し、適當なる問題によりて比較し、正確なる考證に據りて、因果の聯絡を求むべし。何等の秩序なく、系統なく、機械的にこれを羅列し、無意味にこれを區分し、以て材料の豊富を誇り、知識の普遍を衒ふが如きは、「新シキ地理」の取らざる所なり。況んや分類は中間物の處分に苦しみ、強制的にこれを處分することの多きに於てをや。

**一九七、哲學的なれ。** 地理學は今日の狀態を説くものなり、地球の表面を論ずるものなり。實に現世的にして又表面的なるは地理學の本領なり。然れども現世的なるは決して夢幻を意味するに非ず、表面的なるは必ずしも皮相を探索するに非ず。人生の目的に對して有りの儘に示す所あるものは地理學なり。人間の天職に就いて直截的に語る所のものは地理學なり。地理學は實に山水を以て畫かれたる哲學なり、海陸を以て彩られたる宗教なり。冷靜なる理智と、熱誠なる感情とを調和して、究極の眞理と、絶對の善美とに達するは、「新シキ地理學」に於ける純粹無垢の理想なり。

**一九八、論理的なれ。** 前提に缺陷多く、結論に誤謬少からざるは、「古ルキ地理」の缺點なり。論理學に據らずして、「新シキ地理」を語る勿れ。何となれば汝は地獄と極樂との地理を語るものなればなり。何となれば汝は龍宮城と須彌山との地理を話すものなればなり。確實なる事實を正當に解釋したるものを前提とせよ。推理の方式に何等の間然する所なく、結論の適用に些少の懈怠を見ざるに至らしめよ。これ「新シキ地理」の切に要求する條件の一なり。

**一九九、實驗心理を重んぜよ。** 最新の心理學に基かずして、「新シキ地理學」を説く勿れ。これを説くは、痴人の夢を説くよりも痴なり。最近の實驗心理學に據らずして、山水の感化を評する勿れ。これを評するは、群盲の象を評するよりも盲なり。地理學の現象若しすべて自然現象なりとするも、これを經驗の主體との關係に於て見れば、亦悉く精神現象なり。従つて地理學は決して心理學と沒交渉なるを許さず。これを許すは、「古ルキ地理」の一大矛盾なり。







大正三年七月一日印刷  
大正三年七月五日發行



最新  
批判地理學

著者  
發行者  
印刷者  
印刷所

定價金壹圓五拾錢

山上萬次郎  
東京市牛込區白銀町二十番地

合資會社  
育英書院

右代表者

目黑甚七

東京市牛込區榎町七番地

渡邊八太郎

東京市牛込區榎町七番地

日清印刷株式會社

發行所  
發賣所

東京市牛込區白銀町二十番地  
振替口座東京七四二番  
東京市京橋區南傳馬町二丁目  
振替口座東京二八〇九番

合資會社  
育英書院

目黑書店



文學博士 芳賀矢一先生著

口語文典大要

全一冊

定價金四拾錢  
郵税金八錢

內海 靜先生著

技能科教授論

全一冊

定價金九拾錢  
郵税金八錢

永井道明先生著

文明的國民用 家庭體操

全一冊

定價金八拾五錢  
郵税金八錢

芦田惠之助先生著

綴り方教授

全一冊

定價金壹圓卅五錢  
郵税金八錢

加勢藏太郎先生著

形式的取扱を主としたる 國定讀本の文章講話

全二冊

定價金壹圓卅錢  
郵税金拾貳錢

丁抹日本 柳澤米子先生譯

日光浴空氣浴 と長命法

全一冊

定價金四拾錢  
郵税金四錢

玉井幸助先生著

内外歴史講壇

全一冊

定價金五拾五錢  
郵税金八錢

文學博士 佐々政一先生主幹

文章研究錄

每月一日發行一年完結定價一冊金卅錢  
郵税金四錢六ヶ月前金九拾錢(郵税共)



320

128



終